

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	土橋 順一

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価						
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性					
					(年度)	(年度)											
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	18,500	18,500	C	拡大					
							2 コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	40,000	31,600	C	継続					
							3 教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	11,000	6,091	A	拡大					
							4 ワークーション推進事業費	観光客全般	3,000	2,809	B	継続					
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	1,967 (R3)	2,934 (R4)	1 東日本誘客推進事業費	首都圏観光客	28,040	25,247	C	統合					
							3 大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	4,300 (R3)	6,063 (R4)	1 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	三大都市圏観光客	25,000	24,795	C	縮小
												2 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	三大都市圏観光客	10,000	10,000	C	統合
		観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	再掲 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	18,500	18,500	C	拡大					
							再掲 東日本誘客推進事業費	観光客全般	28,040	25,247	C	統合					
							1 県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	観光客全般	1,000	510	C	継続					
							2 誘客プロモーション事業費	観光客全般	12,000	11,000	C	継続					
	課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	12,307 (R3)	18,253 (R4)	1 JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続					
							2 県内全線開業に向けた北陸三県連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	10,000	10,000	C	継続					
3 北陸三県連携観光情報発信・広域周遊促進事業費							観光客全般	12,000	10,000	C	継続						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主任主事 川西 巧真			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 18,500千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催 など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただく石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	

事業費						
(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	6,500	8,000	8,000	20,000	18,500	
一般	0	0	0	0	0	
財源	0	0	0	0	0	
事業費累計	67,500	75,500	83,500	103,500	122,000	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、観光物産展を開催した。新型コロナウイルスの影響により目標値には届かなかったものの、前年度比で+48.3%の増となり、一定の効果が見られた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	令和6年の開業効果最大化に向け、「新幹線県内全線開業RP戦略実行プラン」に基づき(公社)石川県観光連盟が実施する「受け地の魅力づくり」「効果的な情報発信」「誘客キャンペーン」の各事業に必要な資金の貸し付けを行う。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主事 山田 瑞乃
			者 電話番号 076 - 225 - 1543 内線 3949

<事業の背景及び目的>
 県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進。
 R3年度から、感染症対策の時的限的措置として支給要件の県外参加者人数の下限を県外参加者50人以上に引き下げるとともに、コロナ対策に係る経費を対象とした新たな補助メニューを追加。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 県外参加者50人以上
	規模 北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの
	会期 連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること。 ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること。 ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。 ④感染症拡大防止対策経費追加補助: 補助対象経費の3分の1 上限額: ①の基礎補助額又は30万円のいずれか低い額 対 象: 別紙「感染症拡大防止対策に係る補助対象経費例」
申請時期	開催日の1ヵ月前

県外参加者数			国内			国際					
50人	~	99人	4		80	2,100人	~	2,199人	168		
100人	~	199人	8		100	2,200人	~	2,299人	176		
200人	~	299人	16		140	2,300人	~	2,399人	184		
300人	~	399人	24		180	2,400人	~	2,499人	192		
400人	~	499人	32		220	2,500人	~	2,599人	200		
500人	~	599人	40		260	2,600人	~	2,699人	208		
600人	~	699人	48		300	2,700人	~	2,799人	216		
700人	~	799人	56		340	2,800人	~	2,899人	224		
800人	~	899人	64		380	2,900人	~	2,999人	232		
900人	~	999人	72		420	3,000人	~	3,099人	240		
1,000人	~	1,099人	80		460	3,100人	~	3,199人	248		
1,100人	~	1,199人	88		500	3,200人	~	3,299人	256		
1,200人	~	1,299人	96		540	3,300人	~	3,399人	264		
1,300人	~	1,399人	104		580	3,400人	~	3,499人	272		
1,400人	~	1,499人	112		620	3,500人	~	3,599人	280		
1,500人	~	1,599人	120		660	3,600人	~	3,699人	288		
1,600人	~	1,699人	128		700	3,700人	~	3,799人	296		
1,700人	~	1,799人	136		(上限)	3,800人	~	3,899人	304		
1,800人	~	1,899人	144			3,900人	~	3,999人	312		
1,900人	~	1,999人	152			4,000人	~	4,099人	320		
2,000人	~	2,099人	160								

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	48,415	56,000	50,000	40,000	40,000
	決算	48,255	38,836	320	1,040	31,600
一般	予算	48,415	56,000	50,000	40,000	40,000
	決算	48,255	38,836	320	1,040	31,600
財源	決算	48,255	38,836	320	1,040	31,600
事業費累計		93,088	131,924	132,244	133,284	164,884

評価	
項目	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C 新型コロナウイルス感染症の影響により、コンベンションの中止や、リモート参加と現地参加のハイブリッド開催などがあつたが、昨年度に引き続きコロナ対策として補助要件の緩和を行い、県外参加者数はコロナ前と比べると減少しているものの、昨年度より増加した。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 引き続き、県内で開催されるコンベンションの誘致を図るため、(公財)金沢コンベンションビューローと連携したPRの実施などに取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度	H15	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 清水 一樹
					者 電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 本県を訪れる修学旅行については、コロナ禍における旅行先振替需要の増加に伴い、これまで誘致に取り組んできた三大都市圏を中心に大きく増加したが、そのほとんどが、すでに2年先まで従前の旅行先で計画が組まれており、今後計画が組まれる2年後以降を見据えて誘致を強化する必要がある。

- <事業の概要>
- (1) 学校、旅行会社への働きかけ
- ① 三大都市圏の学校、旅行会社等への直接訪問
 - ・東日本、西日本誘客推進室職員による出向宣伝
 - ・東日本誘客推進室に修学旅行誘致戦略マネージャー(大手旅行会社OB)を配置
 - ② 三大都市圏旅行会社向け修学旅行オンライン商談会の開催
- (2) 学校長、旅行会社の県内招へい
- ① 首都圏公立中学校長の現地研修会の招へい
 - ② 関西圏公立中学校長の現地研修会の招へい
 - ③ 首都圏旅行会社教育旅行担当者の招へい
 - ④ 関西・中京圏旅行会社教育旅行担当者の招へい
- (3) 受入体制の強化
- ① 観光事業者向け受入セミナーの開催
 - ② SDGs体験学習プログラムの開発及びPRツールの制作

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	7,000	6,000	6,000	6,300	11,000
	決算	7,000	5,460	5,991	5,925	6,091
一般	予算	3,500	3,000	3,000	3,150	5,500
	決算	3,500	2,730	2,995	5,925	1
財源		3,500	2,730	2,995	5,925	1
事業費累計		26,800	32,260	38,251	44,176	50,267

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>令和4年度の修学旅行の受入実績は、前年度比約9割の348校(R3年度は385校)であり、過去最高であった令和3年度に次ぐ来県数となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、旅行先を従来の方面に戻す学校が増加したことから、R3年度に比べて来県校数は減少しているが、修学旅行誘致戦略マネージャー等による三大都市圏の学校や旅行会社への営業活動をはじめとした積極的な誘致活動により、コロナ禍前のR1年度の実績74校を大きく上回る成果を上げている。</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">拡大</p> <p>北陸新幹線県内全線開業を好機と捉え、県内において修学旅行の定番地となっている金沢から、加賀や能登方面への来訪を促進するため、来県する学校から高い評価を受けている学生による観光ガイドプログラムについて、加賀・能登地域の高等学校の学生によるプログラム開発を支援することにより、加賀・能登地域の修学旅行先としての魅力向上を図り、修学旅行誘致を一層推進する。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ワークーション推進事業費	事業開始年度	R4	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	主任主事 塚 圭吾
	電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3947

<事業の背景・目的>
 テレワーク普及・働き方の変化を背景としたワークーション需要の取り込み、及びワークーションを契機とした県外企業と県内地域との関係づくりに向け、本年度は、企業のニーズ把握及び地域との関係のきっかけづくりを目的とした事業を実施する。

<事業の概要>
 (1) 首都圏等の企業を対象としたモニターツアーの実施により、企業ニーズや受入体制等の課題を把握する。
 (2) (1)で把握したニーズ・課題等を活用し、各市町等のワークーション施設(宿泊施設、ワークスペース)・ワークーション滞在プログラムの改良を促進する。

- モニターツアー概要
- ・対象地域: 県内4地域(4市町)程度
 - ・参加企業: ワークーションや地域との持続的関係づくりに関心を有する首都圏等の企業
4地域合計で5社以上(各社2名程度)
 - ・行程: 2泊3日～3泊4日程度

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	

事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算					3,000
	決算					2,809
一般財源	予算					3,000
	決算					2,809
事業費累計			0	0	0	2,809

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	3地域(5市町)において、地域の課題(閑散期の誘客、地域観光資源の活用等)を把握したうえで、地域事業者の滞在プログラムの作成を支援し、モニターツアーを実施したことにより地域事業者の受入体制強化につながった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	R4事業により招聘した首都圏等の企業がモニターツアーで訪れた地域で新たに事業を展開するなど地域との持続的な関わりを形成することに寄与したことから、R5もさらに県内の他の地域に、事業成果を広げるため、引き続き本事業に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客推進事業費	事業開始年度: H22	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 主事 山田 瑞乃 者 電話番号: 076 - 225 - 1543 内線 3949

<事業の背景及び目的>
R4年度は、GoToトラベル事業(国・県)や、大手旅行会社の誘客キャンペーンと連動した情報発信やコロナによる旅行者ニーズの変化(若者の旅行意欲が旺盛、新婚旅行の国内への振替など)を踏まえ、ターゲットを設定した効果的なPRに取り組むことで、コロナの影響で落ち込んだ首都圏からの入込みの回復を図る。
また、新幹線開業により増加する東北地方からの入込み需要の更なる取り込みのため、JR東日本グループや大手旅行会社等と連携し、本県への旅行を促す具体的取り組みを進めることで、東北からの更なる誘客を図る。

<事業の概要>
【首都圏】
(1)JR東日本等と連携したターゲットを絞った個人誘客の推進
①アクティブシニア向け誘客の推進
JR東日本シニア会員「大人の休日倶楽部」と連携した魅力発信、旅行商品造成
②若年女性向け誘客の推進
JR東日本びゅうトラベルと女性向けウェブサイト「オズモール」と連携した魅力発信、旅行商品造成
③新婚カップル向け誘客の推進
結婚情報誌「ゼクシィ」と連携した魅力発信、旅行商品造成・販売

(2)大手私鉄グループ等と連携した誘客の推進
①東急電鉄・東武鉄道とのタイアップ
旅行会社店頭での販促キャンペーン及び沿線情報誌等を活用した情報発信
②東京メトロと連携した情報発信
沿線情報誌「メロミニッツ」を活用した情報発信
③長野県における誘客キャンペーン
店頭販促キャンペーン及び地元情報雑誌を活用した情報発信

【東北地方】
(3)大手旅行会社・交通事業者と連携した誘客プロモーション
・東北エリア旅行会社の店舗に石川県のPOPを掲出
・東北タウン誌やインターネットを活用した情報発信
・旅行会社での販促キャンペーン

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	首都圏からの入込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	7,000	4,182	4,134	2,164	1,967	2,934

事業費					
(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算 37,377	35,500	34,500	35,740	28,040
	決算 37,315	35,500	0	13,104	25,247
一般	予算 18,689	17,750	17,250	17,870	14,020
財源	決算 18,658	17,750	0	13,104	12,624
事業費累計	193,931	229,431	229,431	242,535	267,782

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	首都圏からの入込み客数はコロナ前と比べて減少しているものの、旅行意欲が高い若年層女性やアクティブシニア、新婚カップルをターゲットとした情報発信や、地元情報誌を活用した情報発信等を実施し、アフターコロナを見据えた石川県の魅力発信を行った結果、首都圏からの誘客に一定の効果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合	本事業による誘客効果の正確な測定が困難であることから、今後はデジタルマーケティングを活用した効果検証が可能な手法へ移行することとし、「デジタルマーケティングを活用した誘客促進事業」に統合

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度: H26	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 主事 山田 瑞乃 者 電話番号: 076 - 225 - 1543 内線 3949

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線敦賀開業に伴うパブリシティ増加の機会及びコロナによる市場変化等を踏まえ、関西・中京圏からのマイカー観光及び若年層の誘客を強化する。

- <事業の概要>
- (1) ターゲットに応じた個人誘客
- ① マイカー利用者向け誘客事業
 - ・NEXCOとの連携による高速道路周遊パスを活用した誘客促進
 - ・JAFや大手自動車販売会社との連携による情報発信
 - ・東海北陸自動車道沿線自治体等との連携による情報発信
 - ② 若年層をターゲットにした誘客事業
 - ・関西圏での女性向け雑誌を発行する出版社とのタイアップによる情報発信等
 - ③ 新婚カップル向け誘客事業
 - ・結婚情報誌と連携した魅力発信と旅行商品造成、販売
- (2) 交通事業者と連携した誘客事業
- ① JR西日本グループ(日本旅行)と連携した誘客推進
 - ② 大手私鉄グループと連携した誘客推進
- (3) 香川県と連携した情報発信等
石川香川観光パートナーシップ協定に基づく情報発信等

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	関西圏・中京圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	6,000	4,737	4,659	2,503	2,333	3,129

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	20,500	28,700	21,800	20,400	16,900
	決算	20,500	28,683	3,862	5,229	15,109
一般	予算	10,250	14,350	10,900	10,200	8,450
	決算	10,250	14,342	1,931	5,229	9,159
事業費累計		62,646	91,329	95,191	100,420	115,529

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	新型コロナウイルス感染症の影響により関西・中京圏からの入り込み客数はコロナ前に比べ減少しているものの、コロナ禍でマイカーを利用する旅行ニーズが高まっている市場変化を踏まえ、ドライブ旅行をターゲットとした情報発信等を実施し、一定の旅行需要を喚起した。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合	本事業による誘客効果の正確な測定が困難であることから、今後はデジタルマーケティングを活用した効果検証が可能な手法へ移行することとし、「デジタルマーケティングを活用した誘客促進事業」に統合

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度: R1	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 専門員 三矢 栄峰
			者 電話番号: 076 - 225 - 1543 内線 3948

<事業の背景及び目的>
 三大都市圏等の大手旅行会社主要店舗において、リーダークラスの販売員を「いしかわ観光コンシェルジュ」として委嘱・配置し、店頭窓口において積極的に本県への旅行を薦めてもらうことで、本県観光情報の恒常的な情報発信の強化を図り、GoToいしかわキャンペーンで喚起される旅行需要を最大限取り込む。

- <事業の概要>
- (1) 実施時期: 通年
 - (2) 設置人数: 販売リーダークラス社員1名/店舗 (計30名)
 - (3) 設置店舗: 大手旅行会社主要店30店舗 (首都圏15、関西圏9、中京圏5、東北1)
 - (4) 業務内容
 - ① 本県観光情報の積極的な発信と本県旅行商品の販売等による積極的な送客
 - ② 石川デスク(観光情報コーナー)の設置、運営(常設)
 - ③ 定期的な店頭PRイベント・キャンペーンの実施
 - ④ コンシェルジュによる本県視察研修
 - ⑤ 社内研修の実施
 - ⑥ 定期的なレポート提出による活動実績と旅行トレンドの報告、本県観光施策への提言 など
 - (5) 想定される効果
 - 【石川県】
店舗での恒常的な情報発信による需要の掘り起こし
県内各地の観光情報を詳細かつ幅広く発信することによるリピーター獲得及び県内全域への誘客
 - 【旅行会社】
店頭社員のコンサル能力の強化による顧客サービスの向上と本県への送客拡大

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	13,000	8,919	8,793	4,667	4,300	6,063

事業費						
(単位: 千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算		6,000	11,000	23,000	25,000
	決算		5,993	16,585	20,378	24,795
一般	予算		3,000	5,500	11,500	12,500
	決算		2,997	8,292	0	13,295
財源			5,993	22,578	42,956	67,751
事業費累計			5,993	22,578	42,956	67,751

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C 令和4年度はコンシェルジュ店舗を30店舗(R3:25店舗)に拡大。店舗独自のPRイベントや、SNSなどでの情報発信を通じて、本県観光情報の積極的PRにつなげている。 コンシェルジュ店舗への来店者からは、「イベントに参加して、石川県に興味を持った」や「石川県の観光情報が豊富にあり、旅行の行き先を石川県に変更した」などの声があり、本県観光情報の充実について評価をいただいている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	縮小 三大都市圏は、これまでの取り組みにより、恒常的な送客が期待できるが、全国旅行支援が終わることや、北陸新幹線県内全線開業目前であることから、特に送客力が高い7店舗に絞って実施。 中国地方(広島・岡山)は、新規誘客エリアであり、誘客拡大の足掛かりとして、エリア内旅行会社の代表店舗との連携強化のため、新たに2店舗に配置。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	事業開始年度: H30	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 主事 清水 一樹 者 電話番号: 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 近年、個人旅行の情報収集や手配はインターネットが主流となる中、インターネット広告を活用して旅行に関心が高い個人にターゲットを絞った情報発信が大変有効であり、また、コロナ禍においては、非接触型のPR手法としてインターネットの重要性が一層高まっている。
 県では、これまでもインターネットを活用した情報発信や誘客に取り組んできたが、本県が誇る歴史、文化、自然等の本物の魅力を直感的に訴求でき、近年、視聴が大幅に増えている“動画”を活用した観光PRが効果的であることから、令和4年度は、従来の取組みに加え、本県がターゲットとしている女子旅やシニア旅、マイカー旅行をテーマとしたPR動画を制作し、インターネット上で発信することで、新たな旅行需要の掘り起こしと誘客の拡大を図る。

<事業の概要>
 インターネットで広告を配信し本県の魅力を伝える特集サイトへ誘導するとともに、特集サイトの閲覧者がそのままインターネット上で本県への旅行を予約できる仕組みを構築することで具体的な誘客促進を図る。
 (1) インターネット広告等の配信
 ・大手SNS「Instagram(写真投稿)」、「YouTube(動画)」のユーザーに本県の魅力を伝える広告を配信
 ・SNSで強い発信力を持つインフルエンサーを招聘し、本県の魅力を効果的に発信・拡散 など
 (2) 特集サイトによる魅力発信
 ・本県の歴史・文化・食・自然の魅力を直感的に訴求するPR動画の制作
 ・旅行会社予約サイトへのリンク掲載 など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数			単位	千人	
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	13,000	8,919	8,793	4,667	4,300	6,063

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	12,000	11,000	8,800	17,500	10,000
	決算	12,000	11,000	0	7,737	10,000
一般	予算	6,000	5,500	4,400	8,750	5,000
	決算	6,000	5,500	0	7,737	5,000
財源		6,000	5,500	0	7,737	5,000
事業費累計		12,000	23,000	23,000	30,737	40,737

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	インターネット広告やPR動画の発信を行った結果、三大都市圏からの入込客数は前年比41%増の約6,063千人まで回復したものの、目標値を下回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合 △ □	本事業による誘客効果の正確な測定が困難であることから、今後はデジタルマーケティングを活用した効果検証が可能な手法へ移行することとし、「デジタルマーケティングを活用した誘客促進事業」に統合

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	主事 山田 佳穂		
者	電話番号	076 - 225 - 1543 内線 1953			

<事業の背景及び目的>
 本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

<事業の概要>

(1) 事業内容
 ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツチーム3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームが行う観光PRへの支援を実施

(2) 連携先
 (県内プロスポーツ3チーム)
 ・ツエーゲン金沢(サッカー) : 法人名 榊石川ツエーゲン(H22設立)
 ・石川ミリオンスタース(野球) : 法人名 石川ミリオンスタース(H18設立)
 ・金沢武士団(バスケットボール) : 法人名 北陸スポーツ振興協議会(株)(H27設立)
 (県内のアマチュアスポーツ1チーム)
 ・ヴァンセドール白山(フットサル) : 法人名 (一社)FSVスポーツアカデミー(H28設立)

(3) PR方法
 ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	4,000	4,000	2,500	1,000	1,000
	決算	3,983	3,745	0	0	510
一般財源	予算	2,000	2,000	1,250	500	500
	決算	1,992	1,873	0	0	255
事業費累計		8,062	11,807	11,807	11,807	12,317

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、石川ミリオンスタースの2試合、金沢武士団の6試合、ヴァンセドール白山4試合でパンフレットやノベルティを配布することにより、多くの来場者に石川の観光をPRし、積極的な情報発信を図った。結果、計1800部のパンフレットを配布し、三大都市圏等を対象に石川県の魅力をPRした。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県への誘客促進を図るため、引き続き、アウェイゲームでの観光パンフレットの配布など県内プロスポーツチームと連携した三大都市圏等における観光PRに取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度: H29	事業終了予定年度:	作 組 織: 誘客戦略課
	根拠法令・計画等: ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名: 主事 塩田 弥生 者 電話番号: 076 - 225 - 1671 内線 3950

<事業の背景及び目的>
石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏や東北地域等の重点誘客エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
 - (3) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (4) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価: D	
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	観光入り込み客数				単位: 千人	
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位: 千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	12,000
	決算	15,000	15,000	4,100	5,800	11,000
一般	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	6,000
	決算	15,000	15,000	4,100	5,800	5,500
財源		15,000	15,000	4,100	5,800	5,500
事業費累計		30,000	45,000	49,100	54,900	65,900

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<p style="text-align: center;">C</p> 左記の評価の理由 令和4年度の出演実績は、84回(R3比: 178.7%、R1比: 69.4%)とコロナ前と比較して約7割であったが、前年度比は大幅に増加し、県内外で観光PRに取り組むことができた。 また、観光誘客動画「いしかわ百万石物語～ひやくまんさん小唄～」の普及を図るため、園児による「ひやくまんさん小唄」発表会を実施した。 ※R4年度: 計11園(金沢エリア6園、能登エリア3園、加賀エリア1園、白山エリア1園)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center;">継続</p> 引き続き、本県への誘客促進を図るため、「ひやくまんさん」を活用して県内外に向けた積極的な観光PRに取り組む。 なお、SNS等による情報発信を行うなど、イベント参加以外でのPRについても今後強化していく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 山本 桂	
					者 電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3951	

<事業の背景及び目的>
 令和6年3月の北陸新幹線敦賀延伸及び令和6年秋の北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)など、北陸にとって節目となるトピックスが続くことから、開業8年目を以降も、開業効果の持続・発展を図っていくため、北陸三県、JR及び北陸経済連合会が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
 令和4年 4月～令和4年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 令和4年12月～令和5年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
 ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 ・YouTubeなどSNSをはじめとしたWEBメディアを多角的に活用した情報発信
 ・首都圏での冬の食のPR
 ・敦賀延伸により速達性が向上する関西圏でのPR
 ・キャンペーン特別素材を活用した旅行商品化支援
 ・ホームページでの北陸エリアの魅力発信

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
	決算	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
一般	予算	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
	決算	5,750	5,750	5,750	11,500	5,750
財源	決算	5,750	5,750	5,750	11,500	5,750
事業費累計		23,000	34,500	46,000	57,500	69,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	JRと北陸三県等が連携し、パンフレット・ポスター等での魅力発信及び、旅行会社に対する観光素材提案等を継続実施し、アフターコロナを見据えた観光誘客促進を図り、北陸ブランドの定着に努めた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	2024年3月の北陸新幹線敦賀開業、2024年秋の北陸デスティネーションキャンペーンに向けて、開業効果を持続・発展させていくため、引き続き、JRと北陸三県等が連携した通年キャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県内全線開業に向けた北陸三県連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	R4	事業終了予定年度		
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			
		作 組 織	誘客戦略課			
		成 職 員 氏 名	専門員 山本 桂			
		者 電 話 番 号	076 - 225 - 1671 内線 3951			

事業の背景・目的
 北陸新幹線県内全線開業を見据え、開業2年前となる令和4年度から、令和6年秋の北陸DCまで、切れ目なく大手旅行会社と連携した全国的な誘客キャンペーンを実施することで、開業効果を最大化するとともに、コロナ禍で疲弊した観光業界回復の原動力とする。

事業の概要
 北陸三県と大手旅行会社が連携した誘客キャンペーンの実施
 時 期: 上期(4～10月: 阪急交通社)、
 下期(10～3月: 近畿日本ツーリスト・クラブツーリズム)
 連携先: 北陸三県、大手旅行会社
 内 容: ・北陸向け旅行商品の造成・販売
 ・各県ごとに伝統芸能や伝統工芸などの特別感のあるイベントを開催(旅行商品への組み込み)
 ・成約特典の提供
 ・ホームページ、店頭・会員向けパンフレット、新聞等による情報発信
 事業費: 30,000千円(石川県・富山県・福井県 各10,000千円)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数			単位	千人	
目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253

事業費						
(単位: 千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算					10,000
	決算					10,000
一般	予算					5,000
	決算					5,000
事業費累計			0	0	0	10,000

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C 北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、大手旅行会社と連携した全国的な誘客キャンペーンを実施した。新型コロナウイルスの影響等により目標値には届かなかったものの、前年度比で+48.3%の増となり、一定の効果が見られた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 令和6年の開業効果最大化に向け、「新幹線県内全線開業RP戦略実行プラン」に基づき「受け地の魅力づくり」「効果的な情報発信」のため、引き続き大手旅行会社と連携した全国的な誘客キャンペーンを実施する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	北陸三県連携観光情報発信・広域周遊促進事業費	事業開始年度	R4	事業終了予定年度		作組織	誘客戦略課
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			職・氏名	専門員 小島 晃
						電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3952

<事業の背景・目的>
 北陸新幹線敦賀延伸により北陸三県が新幹線によりつながるメリットを最大限活かし、「北陸」エリアを広域周遊する仕掛けづくりを行うとともに、「北陸」が一体となった情報発信を強化する。

- <事業の概要>
- (1) 三県共同によるマスメディア向け北陸観光PR会議
 <旅マエ対策>
 マスメディアを一堂に集め、食や歴史、文化、祭り等テーマ毎に幅広く観光素材を紹介
 会場: 首都圏等
 参加者: メディア、北陸3県の地元観光事業者
 内容: 旬の観光素材をテーマにした全体プレゼン、地元観光事業者による個別PR など
- (2) 三県共同による広域周遊の仕掛けづくり・PR
 <旅ナカ対策>
 各県の観光コンテンツを繋ぎ周遊コースを設定、周遊キャンペーン実施
 内容: デジタルスタンプラリー、旅行者の周遊データの収集・分析(施策へ反映)等

○事業費: 12,000千円

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	30,000	24,915	24,899	13,252	12,307	18,253	
事業費							
	(単位: 千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算					12,000	
	決算					10,000	
一般財源	予算					6,000	
	決算					5,000	
	事業費累計		0	0	0	10,000	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	C	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、北陸観光PR会議及び三県周遊デジタルスタンプラリーを実施した。新型コロナウイルスの影響等により目標値には届かなかったものの、前年度比で+48.3%の増となり、一定の効果が見られた。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	令和6年の開業効果最大化に向け、「新幹線県内全線開業RP戦略実行プラン」に基づき「受け地の魅力づくり」「効果的な情報発信」のため、引き続き北陸観光PR会議及び三県周遊デジタルスタンプラリーを実施する。					